

ソマックス、新工場完成

金型洗浄機 大型化に対応

ソマックス（大阪市東成区、富田和巨社長）は、大阪府東大阪市に建設していた「新高井田工場Ⅱ写真」が

完成し、21日に稼働を始める。既存の高井田工場が手狭になったため、主力の金型洗浄機の自動化・大型化に対応する。洗浄機と洗

浄液の生産や研究開発部門も集約し、効率化を図る。投資額は土地・建物込みで約13億円。

新工場は3階建てで延べ床面積2000平方メートル。生産品目は金型洗浄機のほか、金型補修用溶接機、温調配管洗浄機の3機種。生産

能力は現在比75%増の年間350台に増える。現在「本社西館」で生産している洗浄液の生産や研究開発部門も事業継続計画（BCP）対応のため一部を除き移管する。本社西館は洗浄テストルームとモデルルームとする。



旧工場はスペースに限りがあり、大型の洗浄機などは生産できなかった。新工場では同社が得意とする精密金型の洗浄機に加え、プラスチック成形機ベ

スで型締め力600ト以上の大型部品にも対応できる。1階部分は天井クレームも備え、大型機を中心に手がける。2階は旧工場

で生産していた中・小型機を移管し、3階は研究開発と検証スペースとして活用する。今後、ダイカスト用金型やプレス用金型にも事業展開する計画。